

注3

大学番号：179

[平成23年度設置]

計画の区分：学部学科設置

注1

届出

大正大学 人間学部 教育人間学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大正大学
平成25年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1.	調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ ・ ・	1
2.	授業科目の概要	・ ・ ・ ・ ・	5
3.	施設・設備の整備状況，経費	・ ・ ・ ・ ・	1 2
4.	既設大学等の状況	・ ・ ・ ・ ・	1 4
5.	教員組織の状況	・ ・ ・ ・ ・	1 5
6.	留意事項に対する履行状況等	・ ・ ・ ・ ・	2 6
7.	その他全般的事項等	・ ・ ・ ・ ・	2 7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 大 正 大 学

(2) 大学名

大 正 大 学

(3) 大学の位置

〒170-8470

東京都豊島区西巣鴨三丁目20番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(スギタニ ギジュン) 杉 谷 義 純 (平成21年3月)		
学 長	(タダ コウブン) 多 田 孝 文 (平成22年4月)	(カツザキ ユウゲン) 勝 崎 裕 彦 (平成25年4月)	任期満了のため 平成25年3月31日 (25)
学 部 長	(イトウ ナオフミ) 伊 藤 直 文 (平成22年4月)	(イデ ヒロヒサ) 井 出 裕 久 (平成25年4月)	任期満了のため 平成25年3月31日 (25)
学科長等		(タキザワ カズヒコ) 滝 沢 和 彦 (平成23年4月)	学部等新設のため(23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成22年度開設の4年制の学科の場合（平成25年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間学部 教育人間学科 学士（教育人間学）	4	65	3	266	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	65 (-) [-]		65 (-) [-]		65 (3) [-]				1.22倍	
志願者数	370 (-) [-]		321 (-) [-]		303 (3) [-]					
受験者数	361 (-) [-]		318 (-) [-]		290 (3) [-]					
合格者数	170 (-) [-]		163 (-) [-]		175 (3) [-]					
B 入学者数	85 (-) [-]		76 (-) [-]		77 (3) [-]					
入学定員超過率 B/A	1.31		1.17		1.18					

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[ー] 85	[]	[ー] 77	[]	[ー] 80	[]	[]	[]	
2 年次				[ー] 83	[]	[ー] 74	[]	[]	[]	
3 年次						[ー] 83	[]	[]	[]	
4 年次								[]	[]	
計		[ー] 85		[ー] 160		[ー] 237		[]		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	人	人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	85 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人)	0.0 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	76 人	3 人	平成24年度	3 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人) ・就学意欲の低下(2人)	0.0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	77 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	238 人	4 人					0.0 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間学部 教育人間学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
第 I 類科目	大学入門	大学入門 1-I	1								兼1	
		大学入門 1-II		1							兼1	
		大学入門 2				1					兼8	
		大学入門 3					1				兼1	
		大学入門 4						1			兼33	
		小計 (5科目)	7	1	0	2	2	0	0	0	兼15	
	TSR科目	TSRセルフマネジメントセミナー	1								兼1	集中
		小計 (1科目)	1	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
	人間探究	人間探究 A-I		2							兼2	
		人間探究 A-II		2							兼2	担当者体調不良のため (25)
		人間探究 B-I		2							兼3	
		人間探究 B-II		2							兼3	
		人間探究 C-I		2		1	1				兼2	
		人間探究 C-II		2		1	1				兼3	
		人間探究 D-I		2							兼1	
		人間探究 D-II		2							兼2	
		人間探究 E-I		2							兼4	
		人間探究 E-II		2							兼4	
		人間探究 F-I		2							兼2	
		人間探究 F-II		2							兼1	
		人間探究 G-I		2							兼2	
		人間探究 G-II		2							兼3	
	人間探究	人間探究 H-I		2		1					兼5	
		人間探究 H-II		2		1					兼3	
		人間探究 I		2							兼2	

		小計（17科目）	—	0	34	0	2	0	2	0	0	0	兼37 兼29 兼33
		英語I	1・2前 1・2前・後		1								兼14 兼11 兼14
		英語II	1・2後 1・2前・後		1								兼14 兼11 兼14
		英語III	1・2前 1・2前・後		1								兼11 兼12 兼14
		英語IV	1・2後 1・2前・後		1								兼11 兼12
		英語V	2・3前		1								兼1
		英語VI	2・3後		1								兼1 兼4
		中国語I	1・2前・後		1								兼6 兼4
		中国語II	1・2前・後 1・2前		1								兼6 兼4
		中国語III	1・2前・後 1・2後		1								兼5 兼4
		中国語IV	1・2前・後 2・3前		1								兼5 兼1 教育効果の観点から配当年次変更(25)
		中国語V	1・2前 2・3後		1								兼2 兼1 教育効果の観点から配当年次変更(25)
		中国語VI	1・2後		1								兼2
		ドイツ語I	1・2前・後		1								兼3
		ドイツ語II	1・2前・後 1・2前		1								兼3 兼2
		ドイツ語III	1・2前・後 1・2後		1								兼3 兼2
		ドイツ語IV	1・2前・後		1								兼3
		フランス語I	1・2前・後		1								兼2
		フランス語II	1・2前・後 1・2前		1								兼2 兼2
		フランス語III	1・2前・後 1・2後		1								兼2
		フランス語IV	1・2前・後		1								兼2
		韓国語I	1・2前		1								兼1
		韓国語II	1・2後		1								兼1
		韓国語III	1・2前		1								兼1
		韓国語IV	1・2後		1								兼1
		スペイン語I	1・2前		1								兼1
		スペイン語II	1・2後		1								兼1
		スペイン語III	1・2前		1								兼1
		スペイン語IV	1・2後		1								兼1
		ヒンディ語I	1・2前		1								兼1
		ヒンディ語II	1・2後		1								兼1
		ヒンディ語III	1・2前		1								兼1
		ヒンディ語IV	1・2後		1								兼1
		小計（32科目）	—	0	32	0	0	0	0	0	0	0	兼34 兼30 兼32

第Ⅱ類科目	導入部門	基礎ゼミナールⅠ	1前	2		3	0	1					
		基礎ゼミナールⅡ	1後	2		2	1	1					
		教育キャリアゼミナールⅠ	2前	2		3	0						
		教育キャリアゼミナールⅡ	2後	2		2	1	1					
		社会学の基礎	1前		4							兼1	
		教育心理学の基礎	1前		2							兼1	
			2後										
		社会心理学の基礎	2前		2							兼1	受講者少数のため休講(25)
		哲学の基礎	1前		2	1	1						
		宗教学の基礎	1前		2	1						兼1	
		教育学の基礎	1前・後	4		1	1	1					
		現在の教育問題	1後		2	1							
		教育の現場を知るⅠ	1前		1	1							
		教育の現場を知るⅡ	1後		1	1							
		小計(13科目)	—	12	16	0	5	0	1	0	0	兼3 兼2 兼3	
	A群	教育者のための哲学	1・2後		2		1	1					
		教育者のための倫理学	2・3前		2		1	1					
		いのちの倫理	1・2後		2		1	1				兼1	
		人と文化をつくる宗教	2・3前		2		1	1				兼1	
		生活のなかの宗教	1・2後		2		1	1				兼1	
		文化からみる日本史	2・3前		2		1	1					
		文化からみる世界史	1・2後		2		1	1					
		科学とオカルトの歴史	1・2後		2		1	1					
												兼1	
		東と西の思想史	1・2後		2		1					兼1	
		美学の歴史	1・2後		2							兼1	
		小計(10科目)	—	0	20	0	2	1				兼2 兼1 兼2	
	発展部門	パーソナリティの心理学	1・2後		2				1				
		臨床発達心理学	2・3前		2				1			兼1	
		こころの教育を考える	2・3前		2		1						
		いのちの教育を考える	2・3前		2		1	1				兼1	
			2・3前・後									教育効果の観点から配当年次変更(25)	
		マナーと人間関係を考える	2・3後		2							兼1	
			2・3後										
		現代社会の倫理を考える	2・3前		2		1					兼1	
		環境への責任を考える	2・3前		2							兼1	
			2・3集中									教育効果の観点から配当年次変更(25)	
		伝統民俗を活かす教育	2・3前		2							兼1	
			2・3前・後										
		伝統礼法と教育	2・3前		2							兼1	
			2・3集中										
		対立と対話	2・3前		2							兼1	
		宗教と教育の関係	2・3後		2							兼1	

						1 2 4	0 4	1	0	0	兼9 兼7 兼6		
	小計（11科目）	－	0	22	0	4	4	1	0	0			
C 群	現代教職論	1・2前・後		2		4					兼1	名称変更(24)	
	教育基礎論												
	教育本質論	2・3前・後		2		1							
	学習・発達論												
	発達・学習論	2・3前・後		2				1					
	教育制度論	2・3前・後		2		1							
	教育と社会	2・3後		2							兼1		
	教育課程論	2・3前・後		2		1							
	社会科教育法Ⅰ	2・3前		2							兼1		
	社会科教育法Ⅱ	2・3後		2							兼1		
	社会・地歴科教育法Ⅰ	2・3前		2							兼1	オムニバス	
	社会・地歴科教育法Ⅱ	2・3後		2		2					兼1		
	社会・公民科教育法Ⅰ	2・3前		2		1					兼4		
	社会・公民科教育法Ⅱ	2・3後		2		1					兼4		
	宗教科教育法Ⅰ	2・3前		2		4	4				兼1		
	宗教科教育法Ⅱ	2・3後		2		4	4				兼1		
	国際理解教育論	2・3前		2							兼1		
	道德教育研究	2・3前・後		2							兼1		
		2・3前・後									教育効果の観点から配当年次変更(25)		
		2・3集中											
	特別活動研究	2・3前・後		2							兼1		
	教育方法論	2・3前・後		2					1				
		2・3集中											
	生徒・指導指導論	2・3前・後		2							兼1		
	教育相談	2・3前・後		2							兼4	受講者なしのため休講（25）	
	教育・現場体験	2・3前・後		1		1							
						2 3 2	0 4	1	0	0	兼11 兼9 兼8		
	小計（21科目）	－	0	41	0	2	4	1	0	0			
D 群	生涯学習概論	1～4前・後		4		1					兼1 兼2	休講 名称変更(24)	
	比較生涯学習概論A	1～4前		2		1					兼4		
	比較生涯学習概論B	1～4後		2							兼1		
	子育て支援学習	2～4前		2							兼1		
	青少年と学習	2～4後		2							兼1		
	成人と学習	2～4後		2							兼1		
	教育と宗教	2～4後		2							兼1		
											兼1		
	社会教育計画論	2～4後		4		1					兼2		
	教育文化事業論	2～4集中		2		4					兼4		
	図書館概論												
	図書館情報学A	2～4前		2							兼1		
		2～4後											
	生涯スポーツ論	2～4前		2							兼1		
	生涯学習施設実習	2～4通		4		1					兼2		
	スポーツ実習A	1～4集中		1							兼1		
	スポーツ実習B	1～4集中		1							兼1		
	スポーツ実習C	1～4集中		1							兼1		
							1 0 0	0	0	0	0	兼8 兼6 兼8	
		小計（15科目）	－	0	33	0	0	0	0	0	0		

第Ⅱ類科目	E群	高等教育論入門	1後		2			1				
		教育法入門	1後		2		1					
		大学・学校職員論Ⅰ	1前		2							兼1
		大学・学校職員論Ⅱ	1後		2							兼1
		小計（4科目）	—		8		1	1				兼1
	専門ゼミ ナール部門	教育人間学専門ゼミナールⅠ	3前	2			6 3 6 5	0 2 0	1 2 1			兼1
		教育人間学専門ゼミナールⅡ	3後	2			3 4	2 0	2 1			兼3
		教育人間学専門ゼミナールⅢ	4前	2			3 4	2 0	2 1			兼1 兼3
		教育人間学専門ゼミナールⅣ	4後	2			3 1	2 0	2 0			兼2
		3・4後					1	0	0			教育効果の観点から配当年次変更(25)
		教育人間学特別研究	3・4前・後		2		3	2	2			
		小計（5科目）	—	8	2	0	6 3	0 2	1 2			兼4 兼2
	教職関連部門	日本史概説A	2・3前 2・3後		2							兼1
		日本史概説B	2・3前		2							兼1
		西洋史概説	2・3前・後		4							兼1
		東洋史概説	2・3前・後		4							兼2
		人文地理学A	2・3前		2							兼1
		人文地理学B	2・3後		2							兼1
		自然地理学A	2・3前		2							兼1
		自然地理学B	2・3後		2							兼1
		地誌学	2・3前・後		2							兼2
		法律学概論（国際法を含む）	2・3前		2							兼1
		2・3前										教育効果の観点から配当年次変更(25)
		政治学概論（国際政治を含む）	2・3後		2		1					兼1
		経済学概論（国際経済を含む）	2・3後		2							兼1
		現代宗教論	2・3前		2							兼1
		宗教史Ⅰ	2・3後		2							兼1
		宗教史Ⅱ	2・3後		2							兼1
		小計（15科目）	—	0	34	0	0 1	0	0 0	0 0	0	0
		卒業論文	4		8		6 4 6	1 2 1	1 2 1			
		卒業研究	4		8		4	2	2			
		小計（2科目）	—	0	16	0	6 4	1 2	1 2	0	0	
合計（151科目）						6	1	1			兼136	
合計（111科目）			—	27	251	0	4	2	2	1	0	兼102 兼52

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 13	科目 133	科目	科目 146	科目 14 [1]	科目 137 [4]	科目 []	科目 151 [5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【賃与者】 (学) 佛教教育学園 【賃与期間】 H5. 1. 26から20年間 H24. 4. 1から20年間 (24) 新教育・研究棟新設 (24) 土地購入のため (25)	
	校 舎 敷 地	41,130㎡ 40,625㎡ 40,104㎡	0㎡	0㎡	41,130㎡ 40,625㎡ 40,104㎡		
		運 動 場 用 地	31,429㎡	0㎡	0㎡		31,429㎡
		小 計	72,559㎡ 72,054㎡ 71,533㎡	0㎡	0㎡		72,559㎡ 72,054㎡ 71,533㎡
	そ の 他		287㎡ 744㎡ 712㎡	0㎡	0㎡		287㎡ 744㎡ 712㎡
		合 計	72,846㎡ 72,798㎡ 72,245㎡	0㎡	0㎡		72,846㎡ 72,798㎡ 72,245㎡
	(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計
58,656㎡ 51,507㎡ 49,221㎡			0㎡	0㎡	58,656㎡ 51,507㎡ 49,221㎡		
(49,221㎡)			(0㎡)	(0㎡)	(49,221㎡)		
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	既存校舎解体および新 教育・研究棟完成 (24) 新教育・研究棟完成 (25)
		75室 69室 61室	40室 13室 30室	20室 15室 10室	4室 5室 (補助職員 2人)	0室 (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		研究室数の調整のため (25)
		人間学部 教育人間学科			8 室 7 室		

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	電子ジャーナル、視聴覚資料は、大学全体で共用
	教育人間学科	15,518 [1,211] (14,446 [1,214])	333 [24] (161 [15])	20 [2] (20 [2])	22,440 (19,852)	0 ()	0 ()	
	計	15,518 [1,211] (14,446 [1,214])	333 [24] (161 [15])	20 [2] (20 [2])	22,440 (19,852)	0 ()	0 ()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		新書庫完成 (25)
		5,140㎡		410		623,417		
		4,862㎡		383		502,778		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				体育棟完成 (23)
		2,909㎡						
		1,312㎡		総合グラウンド、野球場、テニスコート				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	94,500千円	94,500千円	94,500千円
		共 同 研 究 費 等	11,469千円	11,000千円	設備購入費	7,579千円	7,579千円	7,579千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,080千円	900千円	900千円	900千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金(設立宗派・同窓会・寺院関係者)、手数料(入学検定料等)、資産運用収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	大 正 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
仏教学部		人	年次 人	人		倍			
仏教学科	4	100	25	450	学士（仏教学）	1.18	平成22年度	東京都豊島区 西巣鴨3-20-1	
人間学部						1.16			
仏教学科	4	—	—	—	学士（仏教学）	—	平成5年度		平成22年度より学生募集停止
社会福祉学科	4	80	—	320	学士（社会福祉学）	1.13	平成5年度		
ソーシャルワーク専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	1.15	平成22年度		平成23年度より学生募集停止
環境コミュニティ専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	1.01	平成22年度		平成23年度より学生募集停止
人間環境学科	4	60	—	240	学士（人間環境学）	1.12	平成23年度		
臨床心理学科	4	110	5	450	学士（臨床心理学）	1.13	平成21年度		
人間科学科	4	105	3	426	学士（人間科学）	1.21	平成12年度		
人間科学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	1.19	平成20年度		平成23年度より学生募集停止
教育人間学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	1.24	平成20年度		平成23年度より学生募集停止
教育人間学科	4	65	3	266	学士（教育人間学）	1.21	平成23年度		
文学部						1.19			
表現文化学科	4	—	—	—	学士（表現文化）	—	平成15年度		平成22年度より学生募集停止
人文学科	4	140	3	566	学士（人文学）	1.19	平成22年度		
歴史学科	4	160	3	646	学士（歴史学）	1.20	平成15年度		
表現学部						1.19			
表現文化学科	4	200	3	806	学士（表現文化）	1.19	平成22年度		

- （注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間学部 教育人間学科>

(1) 担当教員表

届 出 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	タキザワ カズヒロ 滝沢 和彦 (54)	平成23年4月	基礎ゼミナールⅠ						
				基礎ゼミナールⅡ					教育の現場を知るⅠ	香川⇒滝沢へ担当者変更 (25)
				教育キャリアゼミナールⅠ					教育の現場を知るⅡ	
				教育キャリアゼミナールⅡ					教育基礎論	科目名変更(24) 「教育本質論」→「教育基礎論」
				教育本質論						
専	教授	ユミヤマ タツヤ 弓山 達也 (48)	平成23年4月	教育制度論						
				教育課程論						
				教育人間学専門ゼミナールⅠ						
				教育人間学専門ゼミナールⅡ						
				教育人間学専門ゼミナールⅢ						
				教育人間学専門ゼミナールⅣ						
				卒業論文 卒業研究						
専	教授	ユミヤマ タツヤ 弓山 達也 (48)	平成23年4月	大学入門2						
				人間探究HーⅠ					教育人間学専門ゼミナールⅡ	齋藤⇒弓山へ担当者変更 (25)
				人間探究HーⅡ					教育人間学専門ゼミナールⅣ	
				こころの教育を考える						
				現代社会の倫理を考える					教育キャリアゼミナールⅠ	香川⇒弓山へ担当者変更 (25)
				教育人間学専門ゼミナールⅠ					教育キャリアゼミナールⅡ	
				教育人間学専門ゼミナールⅡ					人間探究HーⅡ	「人間探究HーⅡ」は複数開講のため支障はない(24)
専	教授	タチ ジュンジ 館 潤二 (60)	平成25年4月	教育人間学専門ゼミナールⅢ	兼任	講師	カンオ ナオキ 櫻尾 直樹 (49)	平成24年4月	現代社会の倫理を考える	弓山⇒櫻尾へ担当者変更 (24)
				教育人間学専門ゼミナールⅣ	兼任	講師	サイトウ トモアキ 斎藤 知明 (28)	平成24年4月	教育人間学専門ゼミナールⅡ	弓山⇒齋藤へ担当者変更 (24)
				卒業論文 卒業研究						
専	教授	ワタナベ ケンジ 渡邊 健治 (63)	平成23年4月	基礎ゼミナールⅠ	専	教授			基礎ゼミナールⅠ	渡邊⇒館へ担当者変更 (25)
				基礎ゼミナールⅡ					基礎ゼミナールⅡ	
				教育キャリアゼミナールⅠ					教育キャリアゼミナールⅠ	「大学入門3」は複数開講のため支障はない(25)
				教育キャリアゼミナールⅡ					教育キャリアゼミナールⅡ	
専	教授	ワタナベ ケンジ 渡邊 健治 (63)	平成23年4月	現在の教育問題					現在の教育問題	渡邊⇒館へ担当者変更 (25)
				現代教職論					現代教職論	
				教育・現場体験					教育・現場体験	「大学入門3」は複数開講のため支障はない(25)
				教育人間学専門ゼミナールⅠ					教育人間学専門ゼミナールⅠ	
専	教授	ワタナベ ケンジ 渡邊 健治 (63)	平成23年4月	教育人間学専門ゼミナールⅡ					教育人間学専門ゼミナールⅡ	渡邊⇒館へ担当者変更 (25)
				教育人間学専門ゼミナールⅢ					教育人間学専門ゼミナールⅢ	
				教育人間学専門ゼミナールⅣ					教育人間学専門ゼミナールⅣ	「大学入門3」は複数開講のため支障はない(25)
				教育人間学特別研究A					教育人間学特別研究A	
専	教授	ワタナベ ケンジ 渡邊 健治 (63)	平成23年4月	政治学概論(国際政治を含む)	兼任	講師	ヨシダ トシロ 吉田 俊弘 (57)	平成25年4月	政治学概論(国際政治を含む)	渡邊⇒吉田へ担当者変更 (25)
				卒業論文 卒業研究	兼任	客員教授				身分変更(25)

兼任	教授	オオノ ミチオ 大野 道夫 (55)	平成23年4月	大学入門4 人間探究EーII						
兼任	教授	ウチダ エイジ 内田 英二 (48)	平成23年4月	大学入門3 人間探究I 生涯スポーツ論 スポーツ実習A スポーツ実習B スポーツ実習C	兼任	教授	コバヤシ シンジ 小林 伸二 (49)	平成23年4月	大学入門3	所属学科担当科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼任	教授	コバヤシ シンジ 小林 伸二 (49)	平成23年4月	人間探究DーII 東洋史概説					大学入門3	担当者所属学科科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼任	教授	ミヤザキ マキコ 宮崎 牧子 (49)	平成23年4月	大学入門3					人間探究BーII	担当者所属学科科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼任	教授	サイゴウ ヤスユキ 西郷 泰之 (56)	平成23年4月	人間探究BーI						
兼任	教授	ヒカサ マコ 日笠 摩子 (55)	平成23年4月	人間探究BーII	兼任	教授	ミヤザキ マキコ 宮崎 牧子 (49)	平成23年4月	人間探究BーII	所属学科担当科目増のため、負担減により担当者変更(23)
兼任	教授	ヒライシ ヨシコ 平石 淑子 (59)	平成23年4月	中国語I 中国語II 中国語V 中国語VI						
									中国語V 中国語VI	適正人数を考慮し、開講科コマ数減少(25)
									中国語I 中国語II	清水⇒平石へ担当者変更(24)
					兼任	講師			中国語I 中国語II	担当者退職(身分変更)。「中国語I」「中国語II」は複数開講のため支障はない(23)
兼任	教授	シオイリ ホウドウ 塩入 法道 (56)	平成23年4月	人間探究GーII	兼任	講師	キムラ シズカウ 木村 周誠 (51)	平成23年4月	人間探究GーII	担当者学科内の調整により塩入⇒木村へ担当者変更(23)
兼任	教授	コヤマ テンユウ 小山 典勇 (65)	平成23年4月	人間探究EーII						
兼任	教授	ヒライ ユウケイ 平井 有慶 (67)	平成23年4月	人間探究GーI 人間探究GーII	兼任	講師	カンダツ テジュン 神達 知純 (41)	平成23年4月	人間探究GーI 人間探究GーII	担当者学科内の調整により平井⇒神達へ担当者変更(23)
兼任	教授	コジマ トモシ 小嶋 知善 (55)	平成23年4月	人間探究EーII	兼任	准教授	ヤマウチ ヨウ 山内 洋 (51)	平成24年4月	人間探究EーII	小嶋⇒山内へ担当者変更(24)
兼任	教授 (表現学部長)	ニシカゲ ヒロコ 西蔭 浩子 (61)	平成23年4月	英語III 英語IV					英語III 英語IV	役務過多により担当科目減(23)
兼任	教授	イトウ ヨシコ 伊藤 淑子 (51)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究EーI 人間探究EーII 英語III 英語IV						
兼任	教授	オオバ アキラ 大場 朗 (57)	平成23年4月	大学入門4 人間探究EーI						

兼任	教授	シバ ハルヒデ 司馬 春英 (60)	平成23年4月	人間探究AーⅠ 人間探究AーⅡ 美学の歴史						
									教育人間学専門ゼミナールⅢ 教育人間学専門ゼミナールⅣ	司馬⇒高橋へ担当者変更(25)
									人間探究AーⅡ	担当者体調不良により休講
					兼任	講師	ヤマナシユキコ 山梨 有希子 (40)	平成25年4月	美学の歴史	司馬⇒山梨へ担当者変更(25)
									教育人間学専門ゼミナールⅢ 教育人間学専門ゼミナールⅣ	高橋⇒司馬へ担当者変更(24)
兼任	教授	ホシカワ ケイジ 星川 啓慈 (59)	平成23年4月	人間探究AーⅠ 人間探究AーⅡ						
									大学入門3	担当者就任辞退により、担当者変更(23)
兼任	教授	イトウ マサミツ 伊藤 雅光 (54)	平成23年4月	人間探究EーⅠ						
兼任	教授	フジワラ サトコ 藤原 聖子 (55)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究HーⅠ 人間探究HーⅡ 宗教と教育の関係 現代宗教論 宗教史Ⅱ	兼任	教授	ホシカワ ケイジ 星川 啓慈 (54)	平成23年4月	大学入門3	就任辞退により藤原⇒星川へ担当者変更(23)
					兼任	准教授	テラダ ヨシロウ 寺田 喜朗 (38)	平成23年4月	大学入門4	就任辞退により藤原⇒寺田へ担当者変更(23)
									人間探究HーⅠ 人間探究HーⅡ	就任辞退。「人間探究HーⅠ」「人間探究HーⅡ」は複数開講のため支障はない(23)
					兼任	講師	サイトウ トモアキ 齋藤 知明 (28)	平成24年4月	宗教と教育の関係	藤原⇒齋藤へ担当者変更(24)
					兼任	准教授	テラダ ヨシロウ 寺田 喜朗 (39)	平成24年4月	現代宗教論 宗教史Ⅱ	藤原⇒寺田へ担当者変更(24)
兼任	教授	イワキ ヒサノリ 岩城 久哲 (64)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	教授	シャウマン ヴェルナー (62)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ						
兼任	教授	ウチダ エイイチ 内田 英一 (67)	平成23年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	教授(学長)	タダ コウブン 多田 孝文 (69)	平成23年4月	大学入門1ーⅠ 大学入門1ーⅡ	兼任	客員教授				学長任期満了のため(25)
					兼任	教授(学長)	カツザキユウ ゲン 勝崎 裕彦 (66)	平成25年4月	大学入門1ーⅠ	学長就任により多田⇒勝崎に担当者変更(25)
					兼任	教授	モトヤマコウ ジュ 元山 公寿 (53)	平成25年4月	大学入門1ーⅡ	木村⇒元山へ担当者変更
					兼任	教授	キムラ シュウメイ 木村 秀明 (68)	平成23年4月	大学入門1ーⅡ	役務過多により多田⇒木村へ担当者変更(23)
兼任	教授	タマイ クニオ 玉井 邦夫 (50)	平成23年4月	大学入門4	兼任	講師	イタニ トモミ 井洞 知美 (46)	平成24年4月	大学入門4	H24.4新採用のため担当者変更(24)
					兼任	講師	ウカワ コウ 鵜川 晃 (39)	平成23年4月	大学入門4	H23.4新採用のため担当者変更(23)
兼任	教授	オオシマ カズオ 大島 一夫 (54)	平成23年4月	大学入門4 人間探究FーⅠ						
兼任	教授	ヨネヤマ タカコ 米山 孝子 (62)	平成23年4月	大学入門4					大学入門4	担当者退職のため変更 複数開講のため支障はない(25)

兼任	教授	カワカツ ケンヨウ 川勝 賢亮 (69)	平成23年4月	人間探究Ⅰ－Ⅱ					人間探究Ⅰ－Ⅱ	就任辞退。「人間探究Ⅰ－Ⅱ」は複数開講のため支障はない(23)
兼任	教授	オカノ メグミ 岡野 恵 (52)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ					英語Ⅲ 英語Ⅳ	所属学科内での調整により、田村⇒岡野へ担当者変更(23)
兼任	教授	アール キンモンズ (63)	平成23年4月	社会学の基礎 教育と社会 比較生涯学習概論 B						
兼任	教授	ホシノ エイキ 星野 英紀 (66)	平成23年4月	宗教学の基礎 宗教史Ⅰ	専	教授	ユミヤマ タツヤ 弓山 達也 (49)	平成24年4月	宗教学の基礎	星野⇒弓山へ担当者変更(24)
					兼任	准教授	テラダ ヨシロウ 寺田 喜朗 (39)	平成24年4月	宗教史Ⅰ	星野⇒寺田へ担当者変更(24)
					兼任	講師				
兼任	教授	ハラ ヨシオ 原 芳生 (59)	平成23年4月	社会・地歴科教育 法Ⅰ 社会・地歴科教育 法Ⅱ 自然地理学A 自然地理学B 地誌学						
兼任	教授	カガワ タテウキ 加川 帯刀 (66)	平成23年4月	社会・公民科教育 法Ⅰ 社会・公民科教育 法Ⅱ						
					専	教授	タチ ジュンジ 館 潤二 (60)	平成25年4月	社会・公民科教育 法Ⅰ 社会・公民科教育 法Ⅱ	担当者退職のため加川⇒館へ変更(25)
					兼任	講師	ウンノ ショウジ 海野 省治 (69)	平成24年4月	社会・公民科教育 法Ⅰ 社会・公民科教育 法Ⅱ	加川⇒海野へ担当者変更(24)
兼任	教授	ヒルタ ミチハル 蛭田 道春 (65)	平成23年4月	生涯学習概論 比較生涯学習概論 A 社会教育計画論※ 教育文化事業論 生涯学習施設実習						
									教育文化事業論	受講者数少数のため休講(25)
					専	教授	ヒルタ ミチハル 蛭田 道春 (67)	平成24年4月	文化からみる日本 史	村上⇒蛭田へ担当者変更(24)
					専					異動により身分変更(24)
兼任	教授	ホリグチ オサム 堀口 修 (50)	平成23年4月	日本史概説						
専	准教授	ムラカミ コウキョウ 村上 興匡 (49)	平成23年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ いのちの倫理 人と文化をつくる 宗教 生活のなかの宗教 文化からみる日本 史 いのちの教育を考 える 宗教科教育法Ⅰ 宗教科教育法Ⅱ 教育人間学専門ゼ ミナールⅠ 教育人間学専門ゼ ミナールⅡ 教育人間学専門ゼ ミナールⅢ 教育人間学専門ゼ ミナールⅣ 卒業論文 卒業研究						
					専	教授	ヤマモトマサヨシ 山本 雅淑 (62)	平成25年4月	教育人間学専門ゼ ミナールⅠ 教育人間学専門ゼ ミナールⅡ	村上⇒山本へ担当者変更(25)
					専	教授	ヤマモトマサヨシ 山本 雅淑 (62)	平成25年4月	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	村上⇒山本へ担当者変更(25)
					専	教授	ヒルタ ミチハル 蛭田 道春 (67)	平成24年4月	文化からみる日本 史	村上⇒蛭田へ担当者変更(24)
					兼任					異動により身分変更(25)
						教授				昇任により身分変更(24)

専	准教授	タカハシ シュウユウ 高橋 秀裕 (56)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究CーⅠ 人間探究CーⅡ 哲学の基礎 教育者のための哲学 教育者のための倫理学 文化からみる世界史 科学とオカルトの歴史 教育人間学専門ゼミナールⅠ 教育人間学専門ゼミナールⅡ 教育人間学専門ゼミナールⅢ 教育人間学専門ゼミナールⅣ 卒業論文 卒業研究						
									教育人間学専門ゼミナールⅢ 教育人間学専門ゼミナールⅣ	司馬⇒高橋へ担当者変更(25)
					専	准教授	タカノ アツコ 高野 篤子 (47)	平成25年4月	文化からみる世界史	高橋⇒高野へ担当者変更(25)
					兼任	教授	ヒロカワ ススム 廣川 進 (53)	平成25年4月	大学入門4	高橋⇒廣川へ担当者変更(25)
					兼任	准教授	テラダ ヨシロウ 寺田 喜朗 (39)	平成24年4月	大学入門3	高橋⇒寺田へ担当者変更(24)
					兼任	教授	シバ ハルヒデ 司馬 春英 (61)	平成24年4月	教育人間学専門ゼミナールⅢ 教育人間学専門ゼミナールⅣ	高橋⇒司馬へ担当者変更(24)
						教授				昇任により身分変更(24)
兼任	准教授	サトウ リュウイチ 佐藤 隆一 (53)	平成23年4月	人間探究BーⅠ	兼任	講師	イタニ トモミ 井淵 知美 (46)	平成24年4月	人間探究BーⅠ	学科内での調整により、犬塚⇒井淵へ担当者変更(24)
					兼任	教授	イヌヅカ ミネコ 犬塚 峰子 -(61)-	平成23年4月	人間探究BーⅠ	就任辞退により担当者変更(23)
兼任	准教授	シラキ タイチ 白木 太一 (51)	平成23年4月	人間探究DーⅠ 西洋史概説						
									大学入門3 大学入門4	鈴木⇒白木へ担当者変更(25)
						教授				昇任により身分変更(24)
兼任	准教授	ヒロカワ ススム 廣川 進 (51)	平成23年4月	大学入門3						
									大学入門4	高橋⇒廣川へ担当者変更(25)
						教授				昇任により身分変更(24)
兼任	准教授	タカハシ カズヒロ 高橋 一弘 (53)	平成23年4月	人間探究BーⅡ						
						教授				昇任により身分変更(24)
兼任	准教授	ミヤザキ ヨウイチ 宮崎 洋一 (51)	平成23年4月	人間探究DーⅡ 東洋史概説						
兼任	准教授	ハヤシダ コウジュン 林田 康順 (45)	平成23年4月	人間探究AーⅡ						
兼任	准教授	モトヤマ コウジュ 元山 公寿 (51)	平成23年4月	人間探究GーⅠ 人間探究GーⅡ						
兼任	准教授	スズキ ヨシサト 鈴木 義里 (57)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4 人間探究EーⅠ						
									人間探究EーⅠ 大学入門3 大学入門4	担当者急逝のため担当者変更予定(25)
兼任	准教授	タカハシ マサヒロ 高橋 正弘 (41)	平成23年4月	大学入門3 環境への責任を考える						
兼任	准教授	ツカダ ヨシミチ 塚田 良道 (49)	平成23年4月	人間探究DーⅡ						
兼任	准教授	ササキ ミチロウ 佐々木 倫朗 (43)	平成23年4月	社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ 日本史概説A						
兼任	准教授	ウヅキ ケンジ 卯月 研次 (40)	平成23年4月	教育相談						
						教授				昇任により身分変更(23)

兼任	准教授	イマムラ シゲオ 今村 成夫 (49)	平成23年4月	図書館情報学 A	兼任	教授	ハリエ 張江 ヒロオ 洋直 (59)	平成25年4月	図書館概論	今村⇒張江へ担当者変更 (25)
									図書館概論	科目名変更 (24) 「図書館情報学 A」→「図 書館概論」
専	講師	イヌヅカ ミワ 犬塚 美輪 (34)	平成23年4月	大学入門4 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 教育心理学の基礎 パーソナリティの 心理学 臨床発達心理学 発達・学習論 教育方法論 教育人間学専門ゼ ミナールⅠ 教育人間学専門ゼ ミナールⅡ 教育人間学専門ゼ ミナールⅢ 教育人間学専門ゼ ミナールⅣ 卒業論文 卒業研究						
					兼任	講師	ムラカミ リョウ 村上 涼 (45)	平成25年4月	臨床発達心理学	犬塚⇒村上へ担当者変更 (25)
					兼任	講師	ムラカミ リョウ 村上 涼 (45)	平成25年4月	教育心理学の基礎	犬塚⇒村上へ担当者変更 (25)
									学習・発達論	科目名変更 (24) 「発達・学習論」→「学 習・発達論」
専	講師	カガワ シュウタ 香川 秀太 (30)	平成23年4月	教育キャリアゼミ ナールⅠ 教育キャリアゼミ ナールⅡ 社会心理学の基礎 教育学の基礎 教育の現場を知る Ⅰ 教育の現場を知る Ⅱ 教育人間学専門ゼ ミナールⅠ 教育人間学専門ゼ ミナールⅡ 教育人間学専門ゼ ミナールⅢ 教育人間学専門ゼ ミナールⅣ 卒業論文 卒業研究					社会心理学の基礎	受講者数少数のため休講 (25)
					専	教授	タチ ジュンジ 館 潤二 (60)	平成25年4月	教育人間学専門ゼ ミナールⅠ 教育人間学専門ゼ ミナールⅡ 教育学の基礎	担当者退職により香川⇒館 へ担当者変更 (25)
					専	教授	タキザワ カズヒロ 滝沢 和彦 (56)	平成25年4月	教育の現場を知る Ⅰ 教育の現場を知る Ⅱ	担当者退職により香川⇒滝 沢へ担当者変更 (25)
					専	教授	ユミヤマ タツヤ 弓山 達也 (50)	平成25年4月	教育キャリアゼミ ナールⅠ 教育キャリアゼミ ナールⅡ	担当者退職により香川⇒弓 山へ担当者変更 (25)
兼任	講師	シンボ ユウコウ 新保 祐光 (37)	平成23年4月	大学入門2					大学入門2	サバティカル終了のため、 沖倉⇒新保へ担当者変更 (24)
					兼任	准教授	オキクラ トモミ 沖倉 智美 -(42)-	平成23年4月	大学入門2	担当者がサバティカル中の ため、新保⇒沖倉へ担当者 変更 (23)
兼任	講師	カツノ リュウコウ 勝野 隆広 (50)	平成23年4月	人間探究 G-Ⅰ 人間探究 G-Ⅱ						
兼任	講師	タムラ マサアキ 田村 雅昭 (58)	平成23年4月	大学入門3 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	ピーター アニオン (61)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育効果の観点から内容を 鑑み、田村⇒アニオンへ担 当者変更 (24)
					兼任	教授	オカノ メグミ 岡野 恵 (52)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	所属学科内での調整によ り、田村⇒岡野へ担当者変 更 (23)
兼任	講師	ミウラ タツアキ 三浦 龍昭 (35)	平成23年4月	人間探究 D-Ⅰ						
兼任	講師	ウオオ タカヒサ 魚尾 孝久 (61)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4						
兼任	講師	オオノ カズオ 大野 和男 (45)	平成23年4月	大学入門3	兼任	講師	ナカガワ ジンキ 中川 仁喜 (34)	平成24年4月	大学入門3	教育効果の観点から内容を 鑑み、大野⇒中川へ担当者 変更 (24)
兼任	講師	コンドウ ヒロコ 近藤 裕子 (41)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4						

兼任	講師	サカマキ リ エ コ 坂巻 理恵子 (46)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4							
兼任	講師	スズキ ハルコ 鈴木 治子 (54)	平成23年4月	大学入門3							
兼任	講師	ニシダ 西田 みどり (60)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4							
兼任	講師	ミヤジマ シュンイチ 宮嶋 俊一 (44)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ							
兼任	講師	ユイ キョウコ 由井 恭子 (39)	平成23年4月	大学入門3 大学入門4							
兼任	講師	サイトウ フユキ 斎藤 富由起 (44)	平成23年4月	人間探究Ｂ－Ⅰ 人間探究Ｂ－Ⅱ							
兼任	講師	オオヒラ マサミ 大平 雅美 (50)	平成23年4月	人間探究Ｆ－Ⅱ							
兼任	講師	ヤマシタ ユウイチロウ 山下 裕一郎 (39)	平成23年4月	人間探究Ｆ－Ⅱ							
兼任	講師	ワダ ハリヨシ 和田 典喜 (36)	平成23年4月	人間探究Ｇ－Ⅱ	兼任	教授	ノグチ ケイ 野口 圭也 (56)	平成23年4月	人間探究Ｇ－Ⅱ	新採用により和田⇒野口へ 担当者変更 (23)	
兼任	講師	スズキ シンレイ 鈴木 晋怜 (50)	平成23年4月	人間探究Ｈ－Ⅰ 人間探究Ｈ－Ⅱ							
兼任	講師	ヤマナシ ユキヨ 山梨 有希子 (38)	平成23年4月	人間探究Ｈ－Ⅱ					人間探究Ｈ－Ⅰ	驚見後任。担当者変更 (23)	
兼任	講師	ナガシマ ジュンドウ 長島 潤道 (39)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ							
兼任	講師	ナイトウ エイコ 内藤 栄子 (59)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ							
兼任	講師	オオハシ サトミ 大橋 里見 (43)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ					英語Ⅲ 英語Ⅳ	担当者退職のため、荒井⇒ 大橋へ担当者変更 (24)	
兼任	講師	コバヤシ ヨシノブ 小林 良信 (62)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ							
兼任	講師	フルヤ サトル 古家 聡 (57)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	フレデリック メンデ (58)	平成24年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	教育効果の観点から内容を 鑑み、古家⇒メンデへ担当 者変更 (24)	
									英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育効果の観点から内容を 鑑み、ライリー⇒古家へ担 当者変更 (24)	
兼任	講師	モガミ サキヨ 最上 沙紀子 (64)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	テラサカ ユミ 寺坂 有美 (51)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育効果の観点から内容を 鑑み、最上⇒寺坂へ担当者 変更 (24)	
									英語Ⅴ 英語Ⅵ	教育効果の観点から内容を 鑑み、寺坂⇒最上へ担当者 変更 (24)	
兼任	講師	オオツカ ミチコ 大塚 道子 (56)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ							
兼任	講師	アオキ サチコ 青木 幸子 (56)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ							
兼任	講師	ピーター ライリー (63)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	フルヤ サトル 古家 聡 (58)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育効果の観点から内容を 鑑み、ライリー⇒古家へ担 当者変更 (24)	

兼任	講師	レスリー コーブランド (37)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	テラサカ ユミ 寺坂 有美 (50)	平成23年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	兼任	講師	モガミ サキコ 最上 沙紀子 (65)	平成24年4月	英語Ⅴ 英語Ⅵ	教育効果の観点から内容を鑑み、寺坂⇒最上へ担当者変更(24)
									英語Ⅲ 英語Ⅳ	教育効果の観点から内容を鑑み、最上⇒寺坂へ担当者変更(24)
兼任	講師	ジョー ゲイシン 徐 迎新 (55)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						
兼任	講師	チョウレイ 張 麗 (51)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	兼任	講師	チー ホン 漆 紅 (54)	平成24年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	担当者からの申請により、負担軽減のため担当クラスを張⇒漆へ担当者変更(24)
									中国語Ⅴ 中国語Ⅵ	漆⇒張へ担当者変更(23)
兼任	講師	シミズ ヒロコ 清水 浩子 (63)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	兼任	講師	ヒライシ ヨシコ 平石 淑子 (60)	平成24年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	清水⇒平石へ担当者変更(24)
兼任	講師	モリヤマ マキコ 森山 真樹子 (66)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ						
兼任	講師	チー ホン 漆 紅 (53)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語Ⅴ 中国語Ⅵ					中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	適正人数を考慮し、開講科コマ数減(23)
					兼任	准教授	クボタ シンイチ 窪田 新一 (57)	平成24年4月	中国語Ⅴ 中国語Ⅵ	張⇒窪田へ担当者変更(24)
					兼任	講師	チョウレイ 張 麗 (51)	平成23年4月	中国語Ⅴ 中国語Ⅵ	漆⇒張へ担当者変更(23)
兼任	講師	コウ レイケイ 孔 令敬 (55)	平成23年4月	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ						
兼任	講師	ニイヅマ コウイチ 新妻 孝一 (68)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ					ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	適正人数を考慮し、開講科コマ数減(23)
兼任	講師	ヤマサキ シロウ 山崎 史郎 (64)	平成23年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ						
兼任	講師	クワン チェスク 權 在淑 (56)	平成23年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国語Ⅲ 韓国語Ⅳ						
兼任	講師	ミワ イルマ 三輪 イルマ (53)	平成23年4月	スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ						
兼任	講師	ハシモト タイゲン 橋本 泰元 (57)	平成23年4月	ヒンディ語Ⅰ ヒンディ語Ⅱ ヒンディ語Ⅲ ヒンディ語Ⅳ						
兼任	講師	アライ ケイコ 荒井 圭子 (51)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	兼任	講師	オオハシ サトミ 大橋 里見 (44)	平成24年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	担当者退職のため、荒井⇒大橋へ担当者変更(24)
兼任	講師	ニシハラ メグミ 西原 恵 (47)	平成23年4月	基礎ゼミナールⅡ マナーと人間関係を考える						
兼任	講師	ワタナベ ミヨウショウ 渡辺 明照 (61)	平成23年4月	東と西の思想史	専	准教授	ムラカミ コウキョウ 村上 興匡 (50)	平成23年4月	東と西の思想史	教育効果の観点から教育内容を鑑み、担当者変更(23)
兼任	講師	サトウ タケヒロ 佐藤 壮広 (42)	平成23年4月	伝統民俗を活かす教育						
兼任	講師	オガサワラ キョウダ 小笠原 清忠 (66)	平成23年4月	伝統礼法と教育						

兼任	講師	タカク シノブ 高德 忍 (55)	平成23年4月	対立と対話						
兼任	講師	エダキ ミカ 枝木 美香 (43)	平成23年4月	国際理解教育論	兼任	講師	ヒツモト マミヨ 榎本 真美代 (41)	平成25年4月	国際理解教育論	枝木⇒榎本へ担当者変更 (25)
兼任	講師	ホソド カズヨシ 細戸 一佳 (39)	平成23年4月	道徳教育研究 特別活動研究	兼任	講師	エノモトカズオ 榎本 和生 (61)	平成25年4月	特別活動研究	安藤⇒榎本へ担当者変更 (25)
					兼任	講師	アンドウ ヨシミツ 安藤 福光 (33)	平成24年4月	特別活動研究	細戸⇒安藤へ担当者変更 (24)
兼任	講師	ヤマグチトヨカズ 山口 豊一 (56)	平成23年4月	生徒・進路指導論						
兼任	講師	マエダ ヒサノリ 前田 寿紀 (50)	平成23年4月	生涯学習概論						
兼任	講師	サイトウ ススム 斉藤 進 (55)	平成23年4月	子育て支援学習 青少年と学習 生涯学習施設実習					生涯学習施設実習	適正人数を考慮し、開講ク ラス減(23)
兼任	講師	コンドウ シンジ 近藤 真司 (51)	平成23年4月	成人と学習 社会教育計画論※						
兼任	講師	ナルセ ヨシノリ 成瀬 良徳 (59)	平成23年4月	教育と宗教	兼任	准教授	ソネ ノブオ 曽根 宣雄 (47)	平成24年4月	教育と宗教	成瀬⇒曽根へ担当者変更 (24)
兼任	講師	アマノ ヨウジ 天野 宏司 (40)	平成23年4月	人文地理学A 人文地理学B						
兼任	講師	ハラ タカユキ 原 俊之 (39)	平成23年4月	法律学概論（国際 法を含む）						
兼任	講師	マツザキ ヨシサト 松崎 慈恵 (47)	平成23年4月	経済学概論（国際 経済を含む）						
兼任	助教	アダチ ニレカ 足立 にれか (40)	平成23年4月	大学入門 4						
					兼任	講師	ナカガワ ジンキ 中川 仁喜 (34)	平成24年4月	大学入門 4	鵜川⇒中川へ担当者変更 (24)
					兼任	講師	ウカワ ヨウ 鵜川 晃 —(39)—	平成23年4月	大学入門 4	就任辞退のため足立⇒鵜川 へ担当者変更(23)
					兼任	教授	フクイ アツシ 福井 淳 (56)		日本史概説B	教職関連部門

(注) ・ 申請書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届 出 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
4	2	2	0	8	6	1	1	8	8	65	0
()	()	()	()	()	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[]	[]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	香川秀太	自己都合のため就任辞退(25)
2	教授	村上興匡	人文学科の教育組織変更に伴う異動(25)
3	教授	渡邊健治	任期満了に伴う身分変更(25)

(注)・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1～3. 後任教員を採用するとともに、他の専任教員で当初の担当科目を分担することとしたので、学生の履修等に影響はないが、ガイダンス等で担当者変更の周知を行った。(25)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年3月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (24年3月)	入学定員超過の是正に努める こと	別紙の通り	引き続き入学定員超過の是正 に努める
設置計画履行状況 調 査 時 (25年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜人間学部 教育人間学科＞

（１）設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更なし	

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること

○平成５年度から「教育評価部会」を設置

○平成５年度から「教育評価部会」の下に「授業評価実施小委員会」を設置

○平成２０年度から「学士課程教育構築に関する部会」を設置

○平成２２年度から上記３部会を統合し、新たに「教育に関する評価部会」を設置

○平成２２年度から「コース教務主任会」を設置

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

（平成２１年度）

平成２１年４月～平成２２年３月

○「教育評価部会」（構成員：各学科・専攻の教員から１名ずつ互選。計７名）

６月に１回開催。委員は概ね出席。

○「授業評価実施小委員会」（構成員：各学科・専攻の教員から１名ずつ互選。計７名）

春学期２回、秋学期２回、計４回開催。委員は概ね毎回出席。

○「学士課程教育構築に関する部会」

（構成員：各コースから１名ずつ互選【主として教務主任】と部会長指名者。計２０名）

計７回開催。委員は概ね毎回出席。

（平成２２年度）

平成２２年４月～平成２３年３月

○「教育に関する評価部会」（構成員：各学科及び大学院から教員を１名ずつ互選。計８名）

春学期３回、秋学期２回、計５回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」（構成員：各コースの教員から１名ずつ互選。計１８名）

春学期４回、秋学期７回、計１１回開催。委員は概ね毎回出席。

（平成２３年度）

○「教育に関する評価部会」（構成員：各学科及び大学院から教員を１名ずつ互選。計８名）

春学期２回、秋学期１回、計３回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」（構成員：各コースの教員から１名ずつ互選。計１８名）

春学期４回、秋学期６回、計１０回開催。委員は概ね毎回出席。

(平成24年度)

○「教育に関する評価部会」

(構成員：学部の各学科及び大学院の各専攻から1名ずつ選出された委員12名で構成。)

春学期1回、秋学期1回、計2回開催。委員は概ね毎回出席。

○「コース教務主任会」

(構成員：各コースの教員から1名ずつに、第I類科目及びキャリア教育担当教員を加えた計20名で構成。)

春学期4回、秋学期6回、計10回開催。委員は概ね毎回出席。

c 委員会の審議事項等

(平成21年度)

○「教育評価部会」

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」項目の見直し・活用方法
- ・外部講師による講演会の実施

○「授業評価実施小委員会」

- ・学生による「授業評価アンケート」項目の見直し・報告書作成

○「学士課程教育構築に関する部会」

- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成22年度採用予定新任教員対象FD研修会

(平成22年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・各種教育調査の結果分析

○「コース教務主任会」

- ・カリキュラムマップ策定
- ・シラバスの検討

(平成23年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・各種教育調査の報告、結果分析

○「コース教務主任会」

- ・ゼミ制の強化、クラス担任制の導入
- ・専門教育におけるキャリア形成（キャリア教育）支援方法の検討

(平成24年度)

○「教育に関する評価部会」

- ・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
- ・退学者に関する状況の分析、検討

○「コース教務主任会」

- ・進級基準、卒業基準の改善についての検討
- ・カリキュラム大綱・カリキュラム編成方針の検討
- ・ゼミ活動の活性化への取り組み

② 実施状況

a 実施内容

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」
- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・外部講師による講演会
- ・CP・AP策定
- ・講義概要やシラバスの検討
- ・平成22年度採用予定新任教員を対象にFD研修会を開催

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・カリキュラムマップ策定
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

(平成23年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会
- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
- ・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

(平成24年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
- ・ルーブリック評価に関するFD研修会
- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
- ・平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」
- ・専任教員を主な対象とした「大正大学の明日を語るワークショップ」

b 実施方法

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」
春学期及び秋学期の授業終了後に作成し提出。「授業アンケート」結果と照らし合わせ、自己点検を行う。
- ・学生による「授業評価アンケート」
春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。
- ・外部講師による講演会
21年度は、他大学から講師を招き、学士教育課程の効果測定、特にラーニング・アウトカムの評価の意義やその手法について講演会を実施。
- ・CP・AP策定
平成22年3月にCP・APを策定。
- ・講義概要やシラバスの検討
平成21年より、授業の到達目標に関する項目を追加

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。
- ・カリキュラムマップ策定
平成23年1月にカリキュラムマップを策定。
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
コース毎に教員が集まり、次年度科目のシラバス内容を検討する。
- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催
次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

(平成23年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」
春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。
- ・各コースにおける「シラバス検討会」
コース毎に教員が集まり、DP達成のためのCPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討する。
- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会
コース毎に教員が集まり、学生と教員のコミュニケーション強化、学生の個別学修状況把握などから最終的に就職につなげるためのゼミ強化、および1年次からのクラス担任制導入にあたって

の問題点や実行策などを検討する。

- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検およびフィードバックを行ない報告する。

- ・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

(平成24年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、DP達成のためのCPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討する。

- ・ルーブリック評価に関するFD研修会

教員及び職員を対象に、ルーブリック評価の意義・作成方法・活用について外部講師を招いて研修を行う。

- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検及びフィードバックを行ない報告する。

- ・平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

- ・専任教員を主な対象とした「大正大学の明日を語るワークショップ」

ルーブリックの導入を中心とした新DP作成の課題等をワークショップ形式で検討する。

○ 開催状況（教員の参加状況含む）

(平成21年度)

- ・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」

春学期：7月 秋学期：2月

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期：6月～7月 秋学期：12月～1月

- ・外部講師による講演会

平成21年6月24日（水）に初年次教育学会会長・同志社大学社会学部教授山田礼子氏を講師として招聘し、「学士課程教育の効果をどう測るか」について講演会を開催。

(平成22年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

- ・平成23年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：3月

(平成23年度)

- ・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

- ・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

- ・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会

実施：9月より月1回 報告書提出：3月

- ・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

実施：年度末 報告書提出：4月

- ・平成24年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：2月

（平成24年度）

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：7月 秋学期：12月～1月

・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：1月～2月 報告書提出：3月

・ルーブリック評価に関するFD研修会

実施：2月

・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

実施：年度末 報告書提出：4月

・平成25年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：8月

・大正大学の明日を語るワークショップ

実施：4月～1月

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成21年度のFD活動の実施結果を踏まえて、平成22年度以降も取組みを継続的に実施する。

具体的には、

・学生による「授業評価アンケート」

「授業の到達目標」に対する回答項目を検討

・外部講師による講演会を予定

学生による「授業評価アンケート」集計結果等から検討課題を見出し、次年度のカリキュラムやシラバスに反映する。

平成22年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成23年度以降も継続的に実施する。

平成23年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成24年度以降も継続的に実施する。

具体的には、

・Ⅰ類科目（教養科目・初年次教育科目）・キャリア教育科目とⅡ類科目（専門教育科目）の全体

的な再構築（融合）に向けて、諸問題の検討

・上記を踏まえた各コースDPの再確認および見直し

・そのDPを実現するためのCPの作成、授業方法やシラバスの記載方法などの検討

を行なう。

平成24年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成25年度以降も継続的に実施する。

具体的には、

・DPと各教育課程の編成・実施のあり方の関連性をコース毎に明確にし、学生が当該コースでどのような力をつけることが期待されているのかを理解しやすくする。

・ルーブリックによる評価を一部導入し、その効果をコース教務主任会の責任において分析・改善しながら、将来的に全学導入を目指す。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期 平成26年4月

本学では、学則において教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行うことを定めている。また、本学では2008年度にTSR(大正大学の社会的責任)の方針を定め、これに基づき昨年度より自ら目標を立て、計画・実行し改善を継続していく、社会的責任を全うするための「内部質保証」システムを構築した。

組織的には理事長を長とする「TSR推進委員会」をおき、そのもとに学長を長とする「TSR推進運営委員会」、そのもとに「教育に関する評価部会」、「研究活動に関する評価部会」、「社会活動に関する評価部会」、「管理運営に関する評価部会」、「大学院に関する評価部会」の5つの「個別評価部会」をおいている。「TSR推進委員会」は、全学的観点から総合かつ体系的な自己点検・自己評価を行い、総括評価報告書を作成するとともに、PDCAサイクルが循環し質向上に向けた努力が継続的になるよう管理運営している。

b 公表方法

自己点検・評価の取組みが本学の教育研究活動の総括と方針決定に結びつく重要な業務であることを認識し、報告書にまとめることに留まらず、改善すべき内容については緊急度の高いものから随時具体化をはかる。自己点検・評価の結果については『自己点検・評価報告書』を刊行すると同時に本学のホームページにも掲出している。また、授業評価アンケートについては、年2回『学生による授業評価報告書』として刊行すると同時に本学のホームページに公開している。

③ 認証評価を受ける計画

これまでに、平成6年に「大学基準協会」維持会員への申請を行い、平成7年度より維持会員となり、平成13年度に大学基準協会の相互評価を受けてきた。そして平成18年度には「自己点検・評価実施委員会」が作成した自己点検・評価報告書をもとにして、文部科学省の認証を受けた評価機関内の「大学基準協会」を利用して第三者評価を行い、「大学基準に適合する」旨の結果を得た。平成25年4月に「大学基準協会」へ大学評価の申請を行った。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (☒ 有) ・ (☐ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (25年 6月 1日)